みずほCustomer Desk Report 2016/04/06 号(As of 2016/04/05)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	111.02 AUD/USD
TKY 9:00AM	111.23	1.1387	126.68	0.9588	1.4264	0.7597
SYD-NY High	111.34	1.1406	126.75	0.9604	1.4279	0.7635
SYD-NY Low	109.92	1.1336	125.24	0.9547	1.4122	0.7511
NY 5:00 PM	110.35	1.1386	125.62	0.9560	1.4158	0.7545
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)			11.455/11.9	Δ 25RR	1.323	Yen Call Over

NY DOW	17,603.32	▲ 133.68	債券市場	日本2年債	-0.2180	0.7bp
NASDAQ	4,843.93	▲ 47.86		日本10年債	-0.0530	2.2bp
S&P	2,045.17	▲ 20.96		米国2年債	0.7200	▲1.6bp
日経平均	15,732.82	▲ 390.45		米国5年債	1.1755	▲2.9bp
TOPIX	1,268.37	▲ 34.34		米国10年債	1.7201	▲4.2bp
ｼｶｺﾞ日経先物	15,665	▲485.00		独10年債	0.0980	▲3.3bp
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	6,091.23	▲73.49		英10年債	1.3750	▲5.4bp
DAX	9,563.36	▲258.72		豪10年債	2.4510	▲1.4bp
ハンセン指数	20,177.00	▲321.92	為替市況	USD/CNH	6.4854	0.0134
上海総合	3,053.07	43.53		ドルインデックス	94.64	0.13
USDJPY 3M Vol	11.26	1.19%	商品市況	CRB指数	165.225	▲0.57
USDJPY 6M Vol	10.91	0.93%		NY金	1,229.600	10.30
EURJPY 3M Vol	11.58	1.07%		WTI	35.890	0.19
EURJPY 6M Vol	11.26	0.82%		Dubai Spot	33.81	▲0.97

東京

ﾄﾞﾙ円相場はｼﾄﾞﾆｰ時間に高値111.34をつけ、東京時間は111.23ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。前日海外時間の軟調なWTIや米国株式市場の値動きを受けて日経平均株価は軟調に寄り付き、ﾄﾞﾙ円は仲値前に111円を割り込む。その後、日経平均が前日比300円超下落すると、ﾄﾞﾙ円は年初来安値110.67が意識される中で一時110.78まで下落するが、安値更新には至らず110円台後半でのもみ合い推移が継続。午前中には衆院財務金融委員会で黒田日銀総裁が発言するも、ﾄﾞﾙ円の反応は限定的。午後も日経平均が下げ幅を拡大させる中、ﾄﾞﾙ円は上値重い推移が続く。引け前には投機筋のﾄﾞﾙ売り等からﾄﾞﾙ円は直近安値を割り込んで一時110.60をつけ、結局110.62ﾚﾍﾞﾙで海外市場へ渡った。(東京15:30)

ロンドン

ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は110円前半まで下落した後、午後に小幅反発。朝方は110.62ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。ユーロ円のｵﾌﾟｼｮﾝ絡みの売りの噂もあり、全体的に円が買われる中でﾄﾞﾙ円は110円台前半まで下落。その後、菅官房長官の「市場の動きを注視し、適切な対応取る態勢維持」との発言を受け一時110円台後半まで上昇する局面があったものの、欧州株が軟調に推移し、欧米金利が全体的に低下する中で上値重い展開が続く。一部関係筋の話として「日銀、4月に追加緩和議論の公算」との報道を受け再び110円台後半まで値を戻す場面もあったが、結局110.65ﾚﾍﾞﾙでNYへ渡った。ﾕｰﾛﾄﾞﾙは方向感に欠ける展開となった。朝方は1.1385ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。前述のﾕｰﾛ円の売りにつられ下落した後、午後には1.13台半ばから後半にかけて横這い推移となり、1.1364ﾚﾍﾞﾙでNYへ渡った。ﾕｰﾛ圏の3月総合PMI最終値は53.1と速報値54.0から低下したが、市場の反応は限定的だった。(ﾛﾝﾄﾞﾝﾄｰﾙﾌﾘｰ 日比野00531 444 179)

ニューヨーク

NY時間のﾄﾞﾙ円は110.65ﾚﾍﾞﾙｵｰﾌﾟﾝ。朝方は「今月末の日銀金融政策決定会合で追加緩和について議論される」との報道を受け円がやや売られる局面もあったものの、米株式市場が軟調に寄り付く動きにﾄﾞﾙ円は上値を重くし、110.43まで下落する。NY午前10時に発表された米3月ISM非製造業景況指数は、構成指数の新規受注や雇用等が改善したことから予想を上回り、110.70まで戻す。しかし戻り売り意欲は強く、米紙と安倍首相のｲﾝﾀﾋﾞｭｰで「通貨安競争は回避すべき」との発言が伝わったことから、日本政府の介入は無いとの見方に、海外市場で付けた安値110.27を抜けると110円丁度のｻﾎﾟｰﾄを抜け、ｽﾄｯﾌﾟを巻き込み109.92まで下落する。しかしｼｮｰﾄｶﾊﾞｰが一気に持ち込まれたことからﾄﾞﾙ円は110.45まで急速に値を戻す。午後は、大きな値動きの後で調整中心となり110.35ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。一方、ﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.1364ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方はﾕｰﾛ円が下げ渋ったことからﾕｰﾛﾄﾞﾙも1.1382まで戻すものの、軟調な米株式市場の動きに再びﾕｰﾛ円の売りが優勢となり、また、ISM非製造業景況指数結果を受けたﾄﾞﾙ買いに1.1336まで反落する。しかしﾄﾞﾙの売り意欲は強く、再び1.1402まで戻す。午後は、狭いﾚﾝｼﾞでの推移が続き、1.1386ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。(NY00531 113 682井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:矢野・橋

【昨日の指標等】

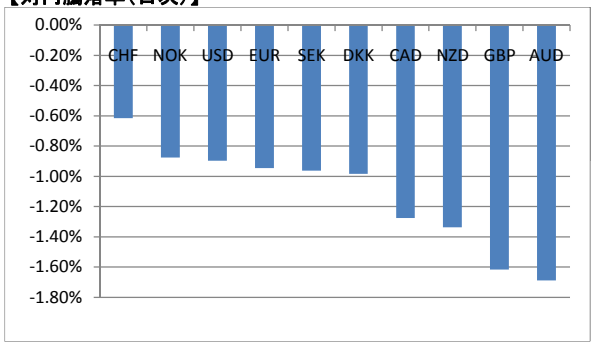
Date	Time		Event		結果	予想
4月5日	10:30	豪	貿易収支	2月	-AUD3,410M	-AUD2,500M
	13:30	豪	RBAキャッシュレート	-	2.00%	2.00%
	14:00	米	エバンス・シカゴ連銀総裁、講演	-	-	-
	15:00	独	製造業受注(前月比/前年比)	2月	-1.2%/0.5%	0.3%/2.2%
	17:00	欧	サービス業PMI/総合PMI・確報値	3月	53.1/53.1	54.0/53.7
	18:00	欧	小売売上高(前月比/前年比)	2月	0.2%/2.4%	0.0%/1.9%
	21:30	米	貿易収支	2月	-$47.1B	-$46.2B
	22:45	米	サービス業PMI/総合PMI・確報値	3月	51.3/51.3	51.2/-
	23:00	米	ISM非製造業景況指数	3月	54.5	54.2
4月6日	1:15	独	ショイブレ独財務相、講演	-	-	-

【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
4月6日	10:45	中	財新・サービス業PMI/総合PMI	3月	-/-	51.2/49.4
	14:00	日	景気先行指数/一致指数	3月	99.8/110.3	101.8/113.5
	15:00	独	鉱工業生産(前月比/前年比)	2月	-1.8%/0.4%	3.3%/2.2%
	20:00	米	MBA住宅ローン申請指数	4/1週分	-	-1.0%
4月7日	3:00	米	FOMC議事録公表	3/15-16分	-	-

【ドル円相場】

【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.50-110.50	1.1350-1.1450	125.00-126.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外ドル円は円高が進んだ。米経済の利上げペース鈍化や原油をはじめコモディティが軟調に推移しリスクセンチメントが悪化する中、日経平均株価や欧米株の下落、安倍首相が米紙のインタビューで「通貨安競争は絶対避けなければならない。」と語ったことが材料視され、ドル円は2014年10月以来の安値となる109.92円まで下落した。本日も上値の重い展開を予想する。一旦110円台に回復しているものの、中国のサービス業PMIの低調な結果などから株価下落に拍車が掛かれば再び円買いが加速する可能性もある。昨日同様、金融当局者発言や株価動向等に注視したい。